

北海道農業と消費者を「繋ぐ輪」。

つなぐわ

TSUNAGUWA

vol.3

2023年8月10日 第3号

発行©株式会社 HAL GREEN

特別企画 すいかの新品種
「金色羅皇」「ピノ・ガール」にご注目！

特集

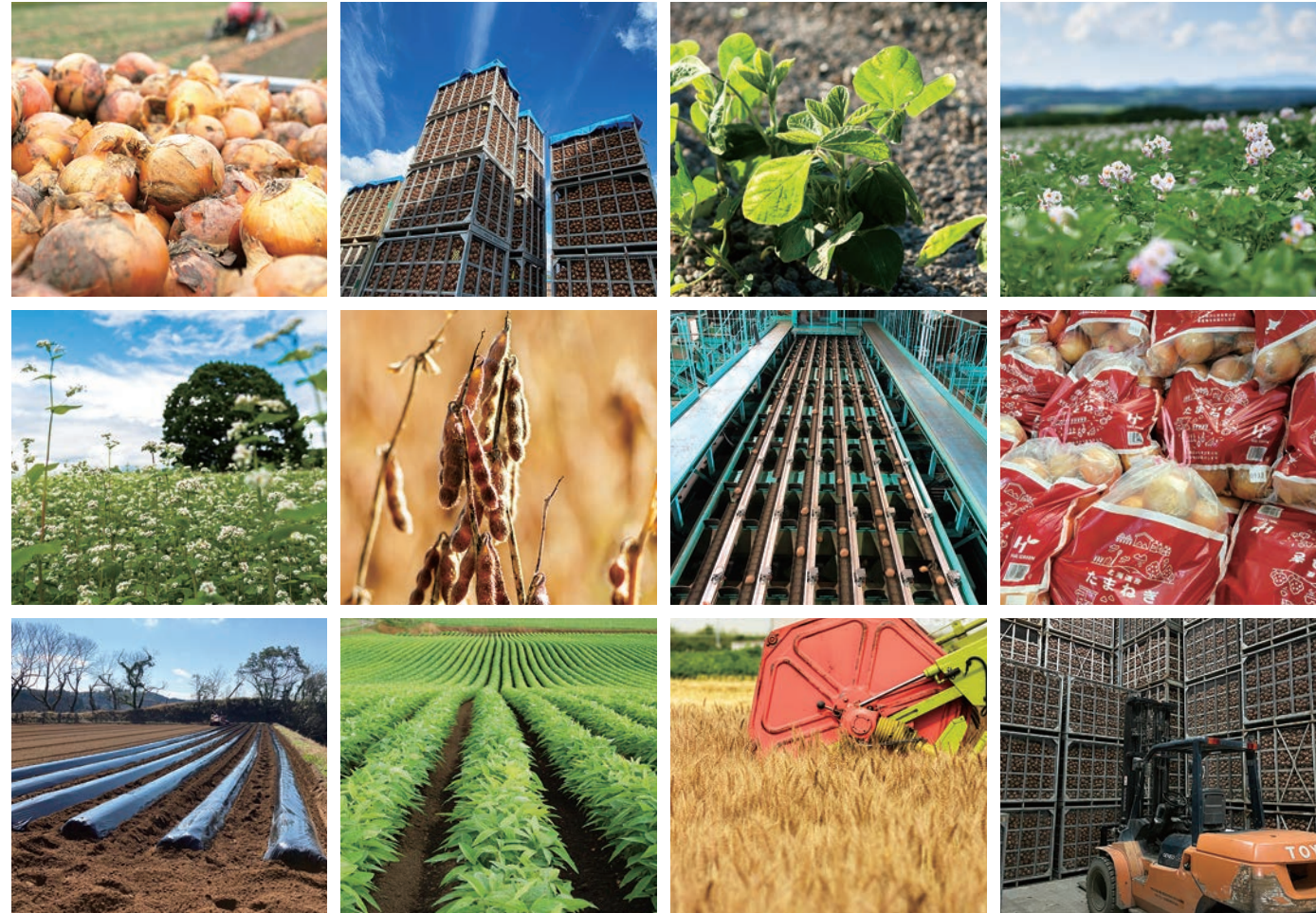
HAL+会員の いままでとこれからをつなぐ話

富良野市(株)天間農産本舗 圃場



HAL+会員の いままでとこれからを つなぐ話

第1回
太田 裕之さん



「つなぐわ」3号

株式会社 HAL GREEN
代表取締役 中島 英利

6月に昨年収穫の青果物は販売を終え、7月から2023事業年度がいよいよスタートしました。今年の目標は、生産者の皆様からお預かりする青果物量の拡大です！ 当面の目標値「玉葱8,000t、馬鈴薯2,000t」などを受託し適正な価格で販売する！そして来春にはしっかりと精算できるように社内一丸となって取り組んでまいります。そしてHAL+としての目標は、会員の皆様との活動で「わくわく」することです！

わくわくイメージ

- ① エスコン・ワールドFビレッジでわくわく2連発(4月・6月終了)
- ② 産地間交流でわくわく「玉葱・馬鈴薯などで企画中」(8・10月)
- ③ 他府県の成功事例を視察でわくわく「和郷園(千葉県)」「Costco物流施設(千葉県木更津)」「グリーンリーフ(群馬県)など視察先選定中(12月)」
- ④ 海外視察でわくわく「ニュージーランド・タスマニア」(調査中1月)
- ⑤ 生産者様と店頭販売(スーパーなどの店頭で生産者と一緒に販売)検討中

近くなりましたら、改めてご案内いたします。奮ってご参加ください。来春には「2023年はわくわくしたわ！」と言っていただけますよう、皆さんも一緒に活動参加のほどよろしく申し上げます。

由仁町の 農業をつなぐ

農業に携わる想い

曾祖父から続く農地を継いで4代目となる太田裕之さんは、約38haの農地で玉葱、麦、大豆を栽培しています。現在41歳の太田さん、経営移譲から7年が経ち、今後の農業を支える生産者の一人です。生まれた時から農業が身近にあり、子供の頃から農作業の手伝いをしていました。もともと農家を継ぐ気はなかったそうです。その気持ちに変化があったのは、3年ほど農業から離れて仕事をした経験からきています。太田さんは次のように話します。「客観的に実家(農業)を見たときに、曾祖父から90年以上続く歴史が途絶えてしまうことに違和感を抱いたこと、そして自然に触れる作業が嫌いではなかった。気持ちを改めて感じるきっかけとなり、再び実家に戻って農作業に従事、現在に至ります。」



4 出荷を待つ玉葱



5 さつまいも圃場

「毎年近隣の酪農家から堆肥の元となる牛糞わらを麦わらと交換、堆肥化して適度に畑へ散布しています。このような農畜連携が昔から確立されていたことは、とても恵まれていることだと実感しています。就農当時、堆肥の散布作業は臭くて正直嫌でしたが、有機質や微生物の働きなどの情報を得るようになってからは、その作業が重要な位置づけになりました。作物の基礎となる土をしっかり作ってあげること、近

生きる糧を作るために

玉葱栽培は2017年から0.5haを始め、3年目には12haまで面積を拡大、4年目からはその全面積で特別栽培に取り組んでいます。就農当時は種子馬鈴薯、麦、大豆、小豆、ビートを栽培していましたが、種子馬鈴薯やビートを徐々に減少し、現在は玉葱栽培を経営の主軸に置いた、麦、大豆の3品目に取り組んでいます。ただ、種子馬鈴薯は経営の主軸で、作付交換は大きな決断だったと話します。「私に経営移譲して間もない頃のこと、収入源である品目を変更するのは0か100かを迫られるような気持ちでした。ただ、6haもの種子馬鈴薯の管理が、将来的に維持できるか不安もありました。昔は出面さん（臨時労働者）が多くなりましたが、労働力の確保が年々難しくなる環境と家族労働の考え方も変化してきていると感じていたので、①作業が機械化されている。②ある程度の面積をこなせる。③収入が確保できる。といった条件の作物を模索していたところ、幸いにも近隣で私以上の面積で玉葱栽培をしている方がいたので、作付交換を判断する大きな後押しになりました。」

「毎年近隣の酪農家から堆肥の元となる牛糞わらを麦わらと交換、堆肥化して適度に畑へ散布しています。このような農畜連携が昔から確立されていたことは、とても恵まれていることだと実感しています。就農当時、堆肥の散布作業は臭くて正直嫌でしたが、有機質や微生物の働きなどの情報を得るようになってからは、その作業が重要な位置づけになりました。作物の基礎となる土をしっかり作ってあげること、近年の不安定な環境に少しでも対応して、安定供給をしたいとの観点から土づくりは大変にしています。」また、特別栽培やGAPの取り組みについて、「国産と聞くと安心安全のイメージを持ちますが、日本の農業・肥料の基準が正しいとも思っていないです。他人に勧められるものを作るといふ考えが大前提にあります。それに差別化や他と違うことをしたい気持ちがあったのと、国内外の情勢が変わりやすい現状に対応するための準備は、常におきたいと考えています。手間ですが、損はないと思っています。」

さらに現状の経営規模にとどまらず、次年度は7haほど面積が拡大する予定と聞きました。「毎年一年生。それでも自分のできるベストを尽くして、父がつないでくれた農業を大切にしながら、父よりも収益を上げることが目標です。」近隣では高齢化などで離農する方が増加傾向とのことですが、「離農地や耕作放棄地の取得を進めながら、地域農業を守る一人になりたい」と前向きな姿勢です。



1 玉葱圃場の管理
2 収穫を待つ玉葱
3 ハーベスターによる収穫作業

また、太田さんには2人の息子さんがおられますが、農家を継ぐかは本人たちの意思次第で、強制もしない考えです。「農家をやりたいと意思表示があったときのために、設備や畑の基礎力を常に維持・向上したいと考えています。そのために、土づくりへの注力と設備投資や面積拡大を意識しています。そうならなくても、より良い環境を次世代につなげられる準備をしたいと思っています。」

HAL GREENに求めること

「HAL GREENに出荷している生産者といえるように、もっと大きくなってほしいと思っています。エリアごとの会合は交流を持てるので良いですし、HAL GREENでも取り組みをしていると聞いていたさつまいも栽培に今年からチャレンジしています。おもしろそうな品目の情報交流ができるのも楽しいと思う一方で、柱となる品目は大事にしながら、しっかりと販売してもらいたいです。普通にやっているだけではない楽しみがあるので、これからも存続してほしいと思っています。」

HAL+ TOPIC **02** サン格林太陽園ドローン視察研修



農業用ドローン実演講習会

6月10日HAL+の研修会として、サン格林太陽園様のご案内により農業用ドローンの実演講習会を実施。HAL+会員16名など合計25名が参加しました。農業用ドローンの解説や防除実演、参加者が自らドローンを操作してのドローンサッカーなど盛りだくさんの研修となりました。

国が推進しているスマート農業にICTの活用は欠かせません。農業用ドローンも数年前より小型化しながらも積載量が増えより実用的となり、価格も競合する会社が増えたことでお求めやすくなっているとの説明が印象的でした。

HAL+ TOPIC **03** 北海道BP Fビレッジ視察研修



セ・パ交流戦 阪神戦を観戦

農業用ドローンの視察研修に続きエスコフィールド北海道にてセ・パ交流戦の日本ハムファイターズvs 阪神タイガース戦を観戦しました。エスコフィールドの開幕史上最多3万2558人来場を記録したこの試合はファイターズが先制し追い付かれ突き放すという白熱した試合展開で、参加された方々も一様に楽しまれている様子でした。HAL+は今後もためになりワクワクするイベントを随時開催していきます。会員の皆様もご希望があればHAL GREEN担当者へぜひお声を寄せてください。

HAL+ TOPIC **01** GAPと特別栽培の取組



GAP内部検査

HAL GREENでは実需者の皆さまに安心して選んで頂ける農産物を提供するために、生産者の皆さまと協力してGAPと特別栽培の推進に取り組んでいます。

農作物の播種、定植が終わわり、圃場が青々とし始める6月中旬。担当職員による農場検査が始まります。検査では生産者から提出された圃場図や施肥計画、防除計画書などを確認しつつ、農場全体の管理状況を確認していきます。確認項目は200

個ほどあり、食品衛生や労働安全、環境保全に対する項目など多岐にわたります。生産者との会話を交えながら生産者が日々残している営農記録を確認し、問題箇所やリスクとなる項目がないか確認を行っていきま

す。問題が発見された場合は、問題解決に向けた是正依頼を行い、よりよい農場管理が行われるよう改善を促しています。HAL GREENではグループによるGLOBAL GAP認証を取得しておりますが、検査が完了した生産者のうち認証基準に達している生産者については認証機関による審査が別途行われ、栽培シーズン毎の認証がなされます。



認証会社による圃場確認

加え、今シーズンからすいかとメロンについても第三者機関による特別栽培圃場の認証監査を受審しました。圃場監査では、隣接圃場との境界を確認し、植付けられている品目やドリフト対策などについての確認が行われました。今後、栽培履歴による肥料と農薬の使用状況が確認された上で、認定書が発行されます。

特別栽培の第三者認証監査

これまでの玉葱、馬鈴薯、南瓜に

すいか新品种のご紹介

弊社では、情報受発信企業として「北海道でのさつまいも生産」や「南瓜の新品种（ほろほろ）生産」等の新たな取り組みをご紹介してきました。今回はその一環として、すいかの新品种をご紹介させていただきます。



大玉すいか

金色羅皇



すいか品種史上
最高糖度（20.6度）

「金色羅皇」は2022年から全国的に栽培が開始された品種です。

果肉の色はゴールドに似た黄色ですが、果肉色には拘らず食味と甘さを追求した結果黄色になったという経緯があります。

黄色の果肉では「クリームすいか」と呼ばれるとろけるような食感の品種が一般的ですが、「金色羅皇」はシャキシャキとした食感や瑞々しさが感じられる品種です。開発したナント種苗株では、栽培・選果基

準について同意書を提出した生産者へのみ種子を販売する事や、中心糖度13度以上と13度未満でシールを使い分ける事など、ブランド価値を高める取り組みを行っています。

「金色羅皇」の異次元の甘さに魅了されるファンが急増しており、各種メディアでも取り上げられ人気沸騰中です。衝撃の甘さと食感に、世間が騒ぎ始めました。常識を破るすいかが新たな需要を開拓中です。

「金色羅皇」概要

主要産地 熊本県、北海道、大分県、山形県、長野県、千葉県

生産量	2022年実績	2023年見込
作付面積	約37ha	約70ha
出荷量	約26万玉	約50万玉



小玉すいか

ピノ・ガール

種まで食べられるすいか

「ピノ・ガール」は2021年から全国的に栽培が開始された品種です。

すいかを食べる時に困ることという消費者アンケートの圧倒的1位は「タネが邪魔」ですが、「ピノ・ガール」は種の大きさが通常の4分の1のため、試食アンケートで93%の人が種ごと食べても気にならないと回答しております。

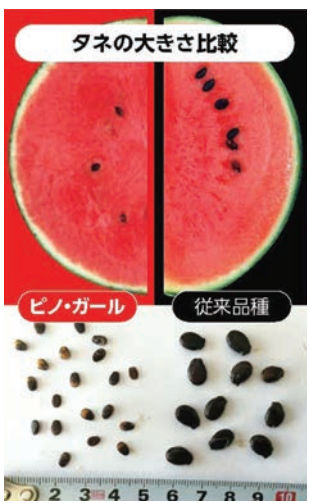
ぶどうでは、種なしぶどう「シャインマスカット」が高級品種として定着し、2022年には品種別作付面積で首位になる等、市場が活性化した事は記憶に新しい事と思います。「ピノ・ガール」はすいか界の「シャインマスカット」を目指し、ナント種苗株が16年もの歳月を要して開発した品種です。皮際まで甘く、種を気にせず食べられて、しかも果肉が崩れにくいという特徴があります。

「ピノ・ガール」概要

主要産地 熊本県、山形県、青森県、茨城県、長野県、北海道

生産量	2021年実績	2022年実績	2023年見込
作付面積	約35ha	約73ha	約100ha
出荷量	約60万玉	約125万玉	約180万玉

「ピノ・ガール」は、日本農業新聞の「注目する果実ランキング」に、全果実の中で2021年度初登場3位、2022年度4位、2023年度3位（「すいか」では3年連続1位）と、毎年上位に食い込んでおります。同ランキングは、卸売会社、スーパー、百貨店、果実専門店、生協、外食等の業界関係者約50社から回答を得ており、関心の高さを現しております。



今回は盛夏の季節という事もありすいかの新品种をご紹介させていただきました。弊社では7〜8月に販売しておりますので、是非一度お召し上がりになり、美味しさを実感していただければと考えております。また、栽培にご興味のある方は是非お問い合わせ下さい。

補助金情報

●ものづくり補助金とは？

「ものづくり補助金」は、簡単に言えば、生産効率の改善に繋がる機械の導入に活用でき、①1年通じて公募がある、②事業者単独で申請が出来る、使い勝手の良い補助金といえます。基本的な要件等については、下段表にまとめていますのでご確認ください。

補助金概要

はじめまして。今回補助金情報を担当する寺澤です。簡単に自己紹介させて頂きます。私は(株)日本政策金融公庫の職員で、昨年より北海道銀行に転向しており、この度縁あってHAL GREENでお仕事をさせて頂くことになりました。皆様宜しくお願ひ致します。

さて、前々回の「つなぐわVOLUME」にて(株)フォスタービズの境様より、農林水産省の補助金概要や思想について寄稿頂きました。今回は目線を変えて、経済産業省の補助金、その中でも特に農業分野での活用が可能かつ、使い勝手の良い「ものづくり補助金」について説明したいと思います。

通常枠の場合、最大1,250万円となりますが、①エネルギーの種類別
に使用量が把握できる、かつ②自社で太陽光やバイオマス等再生可能エネルギーを用いた発電を行っている、または電気事業者との契約で、一部でも再エネに係る電気メニューを選択している、等の要件を満たす場合、グリーン枠(スタンダード類型)の検討が可能となります。グリーン枠(スタンダード類型)を活用出来れば最大2,000万円まで補助が受けられる可能性がありますが、投資金額が大きい場合、ご検討してみたいかがでしょうか。また、ものづくり補助金には今回ご紹介した枠以外にも、デジタル枠、グローバル市場開拓枠等、今回触れていない枠もありますので、ご興味のある方はHP等で検索してみたいことをオススメします。

最後になりますが、こういった投資をしたいが、何か使える補助金はないか？等ご相談をいただければ、分かる範囲で情報提供致します。お気軽にご相談ください。また、補助金の申請に關しては、北海道銀行が支援を行っておりますので、お近くの支店等に相談してみたいかがでしょうか？

ものづくり補助金の概要

基本要件

- 投資内容が、革新的製品・サービスの開発、または生産プロセスの改善に資する事業である。
- 事業所内最低賃金を950円/時間以上の水準とする。
- 本事業活用にあたって、従業員の給与支給総額を年率1.5%以上増加させる。等

公募期間

年複数回公募あり。概ね通年応募可能。

	通常枠	グリーン枠
補助額上限	最大1,250万円	最大4,000万円
補助率	1/2~2/3	2/3



(株)HAL GREEN

主任 寺澤 博史

〒061-1405

北海道恵庭市戸磯193番地6

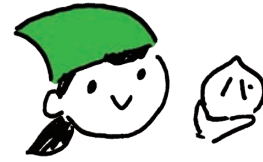
本誌に関するお問い合わせ

株式会社 HAL GREEN

〒061-1405 北海道恵庭市戸磯193-6 TEL: 0123-35-3131 FAX: 0123-35-3232

担当 中田 [e-mail:k.nakata@halgreen.co.jp] ・ 片桐 [e-mail:y.katagiri@halgreen.co.jp]

第3回



バイヤーさんに聞いてみた

イオン琉球株式会社
ザ・ビッグ商品部
農産バイヤー

VOICE

みなさんが愛を込めた
やさしい物が
バイヤーさん・販売店さんの手で
お客様に届いています！

イオン琉球株式会社

ザ・ビッグ商品部 農産バイヤー

新崎 敏幸

はいさい(こんにちは)イオン琉球株式会社ザ・ビッグの紹介を賜り貴重な紙面のご提供ありがとうございます。沖縄県内にザ・ビッグは現在9店舗ありイオン琉球の業態の一つとなります。他にGMS(大型ショッピングセンター)8店舗、マックスバリュ32店舗、イオンドラッグ10店舗、ザ・ビッグと合わせ計59店舗あります。地域との結びつき、お客様の利便性向上の為、4つの業態がある中で今回はザ・ビッグのご紹介をさせていただきます。ザ・ビッグの店舗は「買えば買うほど安さが分かります」を合言葉に「ディスカウントストアとして食料品から日用品の提供を行っております。ディスカウントストアとしての位置づけから、マックスバリュや同業他社より品数は劣っても価格では負けない価格設定、商品の提供を行っております。お客様から「なんでこんなに安いのか?」「安いけど品質は大丈夫?」と聞かれることもオープン当初は多く、中には「卸(取引先)をたたいているのだろ」なんて考える方もおりました。結論から申し上げますと、同業他社と何も変わりません。イオングループとしての安心・安全の提供を第一とし、各お取引先様とは良好な関係を構築しています。「じゃあ、なんで安いのか?」ここがザ・ビッグの特徴となります。一般的なスーパーよりも薄利多売の偏りはありますがそれ以外にも、品数を少なく作業のコストを削

減、商品以外のサービス(収納代行)を無くす、生鮮なら容器(資材)の種類を減らす等店舗にかかると維持費を下げ、その分価格に反映させているのがザ・ビッグです。例えば他スーパーで1袋100円の玉ねぎを90円で販売することが可能になるわけです。ハルグリーン様とはザ・ビッグとしては約3年、イオン琉球としては10年以上お取引させて頂いております。この場をお借りし、感謝申し上げます。生産者の皆様はご自身の育てている作物に「こだわり・情熱・愛情」を持っていらっしゃると思います。生産者の皆様が無ければ、私どものスーパーは成り立ちません。私たちは、生産者の皆様の想いのこもった商品をお客様まで届けることが使命だと感じております。商品購入の際に、ただの「たまねぎ」ではなく「ハルのたまねぎ」とお客様におっしゃって頂けたとき、それが実現するのだと思います。特に、ハルグリーンの生産者の皆様とは日本を縦断する輸送が必要であり、物価高騰により肥料・物流費の上昇は今後の大きな課題になるかと思っております。売値が上がっても「ハルのたまねぎ」が定着すればお客様に確実に商品を購入して頂けると確信しております。生産者の皆様の想いの入った「ハルの玉ねぎ」を今後も頑張って販売させて頂きます。

これから夏本番を迎えます。沖縄県は夏が観光シーズンとなりますが、冬場でも泳げない事以外は見どころはたくさんあります(冬でも気温は18℃です)遊びに来られた時はぜひザ・ビッグも見学していただくよう宜しくお願いします。



想いを価値に



「安全」で「安心」できる

こだわりの農産物を日本全国にお届けするため

特別栽培農産物、GLOBAL G.A.P.の取組を通し

農業大国北海道より、安全で安心できるこだわりの農産物を

日本全国にお届けいたします。

株式会社 HAL GREEN

www.halgreen.co.jp